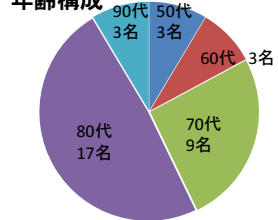


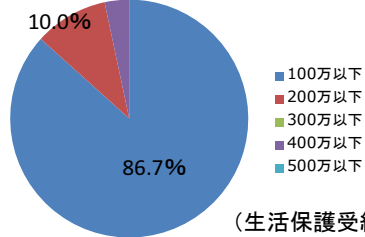
## 長屋入居者の状況

2013.8.28現在入居者35名

年齢構成

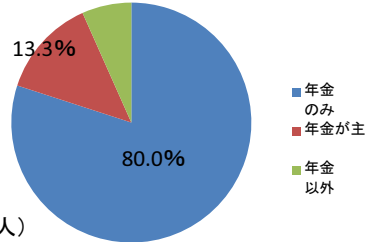


世帯の収入



(生活保護受給者2人)

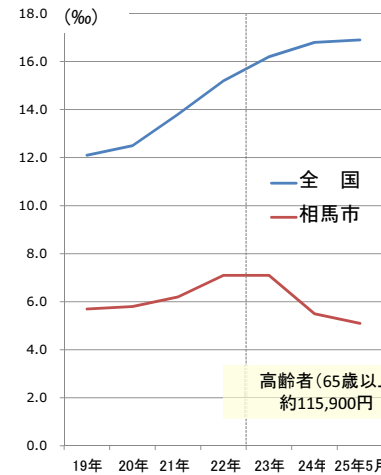
世帯の収入内訳



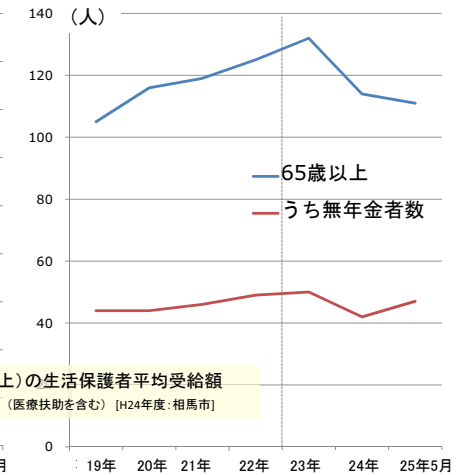
17

## 相馬市の生活保護

生保受給世帯の割合



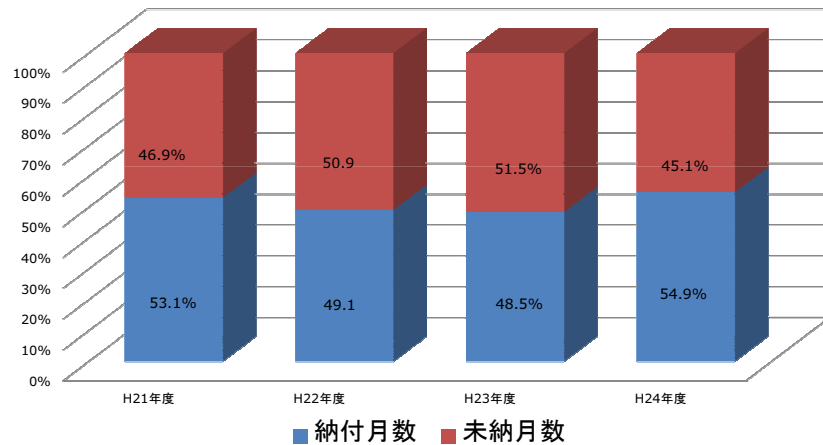
高齢者(65歳以上)の生保受給者に占める無年金者数



高齢者(65歳以上)の生活保護者平均受給額  
約115,900円 (医療扶助を含む) [H24年度:相馬市]

18

## 20代国民年金納付率 (相馬市)



19

## 地方自治体の立場で

- ① 社会保障費負担の公平性と、将来の財源不足懸念に対し、消費税増税は必要
- ② 1%ずつ段階的に上げるのは繁雑
  - (イ) 公共的には水道料金、下水道料金、公立病院の自由診療等にシステム変更が必要
  - (ロ) 小売店はじめ中小企業においてもレジはじめコンピュータシステムの変更が繁雑

20

# 原発風評被害で物流ストップ

「相馬市トラック部隊」



# くしの歯作戦

**被災直後の対策**  
**= 被災者の命を守る輸送路**

支援をスムーズに行うためのポイント

**道路が使えるかどうか**

幹線道路～生活道路が生きているか

**タフな道路が必要**



# 東日本大震災の経験から

道路、橋りょう、河川、護岸、港湾の耐震など、安全安心のための地域整備が必要。

社会保障費の財源を充実させないと、結果的に社会資本の整備、地域の安全安心を確立できない。

このまま社会保障費が増し続ければ、地域振興のための戦略が打てない。

9月までに住宅着工の契約ができない被災世帯に配慮を。